

名古屋市瑞穂生涯学習センターで防災講座を行いました

令和7年9月17日（水）、名古屋市瑞穂生涯学習センターで、令和7年度前期講座「防災DX時代における防災対策 ～命を守る情報～」の受講者15名に水害と地震の防災講座を行いました。

水害の講座では、今回のテーマにあわせ、研究所のDXに関する取組を中心にお話し、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風AI語り部との対話体験、デジタル展示館の視聴を行いました。また、名古屋市でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨、今年で25年目を迎えた東海豪雨などの過去に発生した水害についても説明しました。

VR体験後には、「ものすごくリアルで水が来たとき、体が浮くような感じがして、恐怖を感じました。」、AI語り部との対話体験後には、「私も忘れていたことを思い出させてもらった。」との感想を頂きました。

地震の講座では、トカラ列島近海の群発地震や能登半島地震、濃尾地震などを事例に、隆起・沈下・液状化など地震により発生する現象を、実験装置を用いて説明しました。また、瑞穂区の揺れや液状化のリスクについても確認しました。

講座後には、「液状化の仕組みがよく分かりました。」、「今後、家を建てる時は地盤改良をして、気を付けようと思います。」などの感想を頂きました。

今後も多様な機関と連携し、防災意識向上に向けた取組を進めてまいります。

水害



地震

